

平成 27 年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	地域の子育てサポーター養成事業	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	（一社）大網白里まちづくりサポートセンター	子育て支援課

事業費	当初予算額	決算額	市補助金額（交付決定額）
	353,530円	372,882円	300,000円

【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

- どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、
 ○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、
 ○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

近くに頼れる親族のいない核家族世帯や市内外へ通う共働き世帯など、時代と共に住民の生活形態が変化してきました。そのため子育て世代から、学童や保育園の送迎や出産に伴う上の子の預かりなど、子育て関係の手助けを求める声が多く聞くようになりました。

わが市では、ファミリーサポートセンターの設置を検討はしていますが、実現までに至っておらず、子育ての支援を求める方は増える一方で、まちサポお助け隊の子育て経験者がこの業務を担っているのが現状です。しかし、お助け隊の協力会員からも、子どもの預かりに対しての不安の声が出ています。そこできちんと講習を受けた子育てサポーターを早急に育てる必要性が出てきました。預かる側も預ける側も安心して過ごせる環境を整えることが必要になってきたことが課題です。

まず、子供を預かる側の人材を育てることから始めます。

厚生労働省から、「24時間の講習を受けた方が対応することが望ましい」との見解が出ており、それに基づいて女性労働協会がテキストを作っているのです、これを元にカリキュラムを組みました。

- ・参加対象・・・子育てサポーター（有償ボランティア）として活動できる方、
 または興味のある方
 20歳以上で市内在住の方
 子育て中の方や男女等の区別はありません
- ・養成講座のための説明会を開催 7/22 10:00～11:00 参加者50名（託児を行う）
- ・説明会終了後～8/21迄 受講生申し込み受け付け
- ・9月から2月に養成講座を実施
 受講生 32名申し込み（各受講日に託児を行う）1名途中でやめる。
 2/3 アンケート調査実施 回答数20名

※講座の開催について

問1 平均2時間の講義で12回に分けて行いましたがどうでしたか。

・ちょうど良い回数でした。 14人

・1日の時間数を増やして回数を減らした方が良い 6人

欄外のご意見で ・出来れば短期間で終わらせて欲しいです。

問2 今年度は研修を除いて全て午前中に行いました。

・午前が良い 15人

・午後が良い 0

・夜が良い→何時から開始しますか 1人 19:00～

・どちらでも良い 3人

・無回答 1人

欄外のご意見で ・出来ればバラエティを増やし「仕事をしている方には平日を休まなくて済むように」「子育てママたちには午前中にと」

問3 開講日について

・平日が良い 18人

・土曜日が良い 1人

・日曜日が良い 0人

・無回答 1人

問4 問3で「平日が良い」とお答えいただいた方へ

・曜日は固定した方が良い 17人

・曜日はランダムにした方が良い 1人

・無回答 2人

問5 受講を終えての感想をお願いします。

・当時私が考えていたより内容の深いものでした。

・私のように保育士の資格がある場合や、幼稚園教諭の資格がある場合、たとえば「遊び」「ケアと援助」「心の発達」あたりの知識は勉強していたこととほとんど変わらないので、レポート提出だけでOKとか、多少の免除があるとハードルが低くなると思います。受講者を増やすための工夫はもっと可能な限りやった方がいいと思います。

・自分が母親になる時。育児サポートの様な内容を勉強しておけば、子どもをもう少し立派に育てられたと思います。

・自分の子育てが終わり、今は孫達に関わっていますが、現代は子どもも自分の意思や権利をしっかりと主張しますし、親もそれを尊重するようになっている中で、大人としてのサポートやリーダー制について考えさせられました。

・半年間は長く仕事柄全部に参加出来ずに残念でした。

・受講回数が少なくなってしまい残念。も一度参加し完講したく思う。

・24回を半年、急な用事が出来たとき講習を受けられなくなります。幸い出席出来て安心しています。

・経験豊富な方の豊富な方々の講座は論理的で尚且つ具体的でとてもためになりました。これから必要な知識でした。又、大網在住の意識の高い方々と話しが出来て、受講生同士の交流もこれから続けて行けたらと思いました。

- ・自分は現在仕事をしていないので上記の日時にほぼ満足でした。仕事を持たれて
いる方には、少し難しい日時ではなかったかと思います。
- ・すごく勉強になりました。
- ・お子さんを預かる上で大変参考になりました。また、子育ての重要性を改めて実
感しました。
- ・もう少し時間をかけて学びたかった。
- ・仕事を持つ中で比較的参加しやすい時間帯、回数で助かりました。水落先生、松
本先生のお話が面白かったです。
- ・楽しく受講出来たことがとても良かったです。
- ・他の活動もあったため、受講するための時間のやりくりが大変でした。受講後は
どうなるのか具体的に分からず不安だった。
- ・幅広い内容を短時間で行ったように思います。
- ・子どもの体調不良などで講座に参加出来ない日があったので、同じ月などに振り
替えで受けることが出来ると思います。
- ・新しい育児の方などためになる事が多かった。若い人が頑張っているのが嬉しい。
- ・幅広い年代の方と知り合うことが出来て良かったです。自分がしてきた子育てと
今の子育ての違いにおどろいた。お友達同士で参加してもいいと思いますが、私
語をされる方がいて、せっかくの講義が聞こえづらかったのが残念でした。
- ・あっという間でした。実際にはもう少し回数を増やして欲しいと思いました。
- ・グループワークは楽しかったです。回数が多かったら他の人ともっと知り合えた
かな？と感じました。

問10 来年度6月くらいには支援をスタートさせたいと考えています。

今現在、地域の子育てサポーターとして登録しようと考えていますか。

- ・登録します。 12名
- ・来年度の登録は見送ります。 3名
- ・登録しません。 1名
- ・登録しようか迷っています。 4名

(問6～9は、来年度に関する質問でしたので除きました。)

全講座修了生は12名、1～2回欠席の受講生が多く、来年度実施の講座を引き続き受
講してもらう事になっています。

今年の受講生は、意識の高い方が多かったように見受けられました。

来年度、提供会員(サポーター)登録の手続きを行う予定で、リーフレットの原案を最
終講義の時に用意。受講生にはそれを使って仕組みの説明を行い、本格的に来年度配布用
のリーフレットを作成しました。

【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市(関係課)の役割
・子育て支援課と協議・講習会の講師・日 程の決定	・打合せ、講習場所の確保 ・先進地視察先との連絡調整

<ul style="list-style-type: none"> ・受講生の募集のチラシ等作成・周知、 ・受講生申し込み受付 ・講座実施 ・スタッフも講座の受講、 ・1日研修の決定 ・女性労働協会への連絡 ・子育てサポーター活動準備、講座修了後の活動について子育て支援課と協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師選定、依頼（医師、看護師、栄養士等）
---	---

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった （理由） 予定通りに出来ました。	<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった （理由） 講師については、市が依頼した講師と連絡を取り対応していただいた。 先進地視察において市から視察先に依頼をする前に既に団体が連絡を取っていたケースや、市とは別に団体が単独で視察に行かれていたケースもあり、市と団体の連絡調整がスムーズに行っていなかった点があった。

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
①子育てサポーター養成講座の開講 <ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人女性労働協会の実施する「保育サービス講習会」9項目24時間の講義を実施。 ・各講座に合わせて、子育て支援課と協議の末、講師を選定、依頼する。 ・講師決定後、講師と子育て支援課と講座 	養成講座は計画通り実施出来ました。 <ul style="list-style-type: none"> ・7月22日に養成講座説明会を実施後、受講生を募集 9/16(水) 9:45～12時 中央公民館研修室 「保育の心」 講師 保育士 安岡律子氏 9/30(水) 10～12時 市役所別棟大会議室 「心の発達と保護者のかかわり」

<p>の開催日程を協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座修了後、女性労働協会発行の修了証を交付 <p>②地域の子育てサポーターとして登録</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座の修了証を交付された方は、子育てサポーターとして登録、実践活動へつなげる。 <p>③ファミリーサポートの現状視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートセンター（千葉市・東金市等）を訪問、実際に携わっている方から経験談を伺うとともに、ファミリーサポートセンターの仕組みなどを学び、自分たちの活動しやすい、利用しやすい活動体制を整える。 	<p>講師 精神保健福祉士 吉川厚子氏</p> <p>10/14(水) 10～12時 中央公民館研修室 「障がいのある子の預かりについて」</p> <p>講師 児童発達支援管理責任者 野花の会代表 野口よし子氏</p> <p>10/28(水) 10～12時 中央公民館研修室 「身体の発達と病気」</p> <p>講師 東千葉メディカルセンター 小児科医長 水落弘美 氏</p> <p>11/11(水) 10～12時 中央公民館1階講義室 「小児看護の基礎知識1」</p> <p>講師 看護師 松本幸子氏</p> <p>11/25(水) 10～12時 中央公民館研修室 「子どもの遊び」</p> <p>講師 保育士 安岡律子 氏</p> <p>12/2(水) 10～12時 中央公民館研修室 「事故による子どもの傷害」</p> <p>講師 保健師（市職員）</p> <p>12/11(金) 10～12時 中央公民館研修室 「子どもの生活へのケアと援助」</p> <p>講師 城西国際大学福祉総合学部 福祉総合学科准教授 品田 知美 氏</p> <p>1/13(水) 10～12時 中央公民館研修室 「小児看護の基礎知識2」</p> <p>講師 看護師 松本幸子氏</p> <p>1/20(水) 10～12時 中央公民館研修室 「子どもの栄養と食生活」</p> <p>講師 栄養士（市職員）</p> <p>2/3(水)9:20～14:30 農村ふれあいセンター 「普通救命講習会 交流会」</p> <p>講師 山武郡市南消防署職員3名 大網白里市女性消防団員2名</p> <p>15:00～16:30 協働事業支援会議の「先進活動事例紹介」に参加</p> <p>講師 NPO 法人いんば子どもネットワーク（印西市） NPO 法人 i-net（浦安市）</p> <p>2/17（水）10～12時 中央公民館1階講義室 「子育て支援サービスを提供するために」</p> <p>講師 子育て支援課（市職員）</p>
---	---

	<p>まちサポスタッフ 鵜澤司子 講座修了者にアンケート実施 登録意志の確認をしました。 講座終了後の事務手続きの都合上、登録・ 実践活動は来年度に行う事にしました。 市民に周知のためのリーフレットを作成、 来年度に繋げます。</p> <p>視察は、子育て支援課からのアドバイス として、協働支援会議の事例紹介に振り替 え、普通救命の講習会と交流会を企画。1 日研修としました。</p> <p>スタッフは、富里市・我孫子市・四街道 市のファミリーサポートセンターを視察、 勉強してきました。</p>
--	---

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<p><input type="checkbox"/> 適正であった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり適正でなかった</p> <p>(理由)</p> <p>実践活動には進められませんでした。ほぼ計画通りに実施出来ました。</p> <p>受講生も予定外に多く集まり、講座後のアンケート調査でも、参加者の賛同を得られた と思います。よって、適正であったと評価出来ます。</p>

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

<p>スキルの高い教材を使用したことで、講師の先生方からもいいテキストだと高評価を頂きました。又、受講生の皆様もレベルの高い方が集まってくれたお陰で、サポーターとしての意識、子供の預かりの責任の重さなど十分に理解してくれました。「受講後に、登録出来るか判断して下さい」と最初に説明をしたので、登録するか迷われた方も多くいますが、それはお子様の命ときちんと向き合っているとの現れだと思います。この講座を行う事が出来、地域の子育て支援の輪を広げることが出来ました。</p>
--

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 強化、活性化した <input type="checkbox"/> 概ね強化、活性化した <input type="checkbox"/> あまり強化、活性化しなかった (理由) 子供を預かることの重さを皆さんに理解してもらえたと考えられます。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団 体
行政が率先して事業化をする必要性のある事業でも、市民レベルで補えることがあることを証明出来たと思います。又、ファミリーサポートセンター事業の実施を求めている市民にとっては、いい方向へ進めることが出来、行政も市民も0からの出発でしたので、どちらがリードするとかなく、お互いに話し合いながら出来たことは、大変良かったと思います。
市
市に未設置となっている「ファミリーサポートセンター」については、住民からの設置の要望も挙げられており、子ども・子育て支援事業計画においても平成31年度までに設置する計画を立てているなかで、本事業はセンターを設置する際に欠かせない提供会員を養成する講座として将来のセンター設置に向けた取組みには非常に効果があった。 説明会や講座の受講者が予定数以上参加されたことは、団体が持つネットワーク等による啓発によるものと思われ、市が単独実施するよりも多くの受講者を受入れることができたと思われる。 本事業を実施することにより市にファミリーサポートセンターが設置される準備段階としては効果があり、事業に対する住民の理解も深まったと思われる。 しかし、市がセンターを実際にどのような運営方法（直営なのか、委託するのか）で実施するのかが未定であることから、受講修了者がこれから実務にどのように関与できるのか市も団体も具体的に説明できなかった点については来年度以降の課題となる。 また、当事業の進め方を話し合う際、団体内の共通認識が図られていないまま当課との打合せを行っている様子が見受けられ、団体と当課の打合せで決定した事項についても受講者への説明時においてその内容が変更されていたことがあった。変更するのであれば再度当課に報告をいただきたい。

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) ⑤で理由も一緒に説明していると思います。	<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) 市が単独で実施するよりも多く受講者を受入れることができた。